



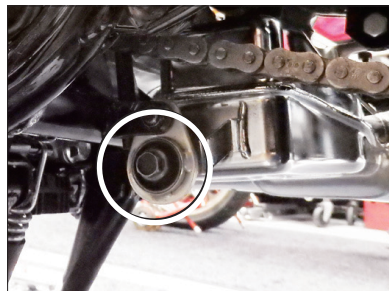
作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

## &lt; 商品内容 &gt;

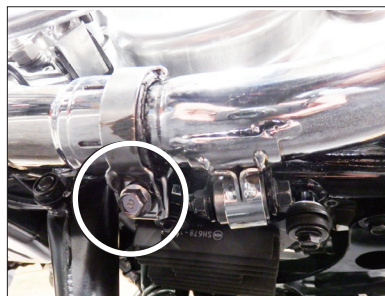
① POWER BOX サイレンサー	×1
② 六角穴付きボタンボルト (M6×10mm)	×2
③ サイレンサープロテクター	×1

本製品は純正エキゾーストパイプ、またはPOWERBOXパイプ(別売品)との組み合わせを前提に開発されています。どちらとの組み合わせでも取り付け方法は同じです。

- ※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の製品とは形状、仕上げなど、一部異なる場合があります。  
 ※ 作業は平坦な場所でセンタースタンドを立てて車体を安定させ、エンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。  
 ※ 本製品にはガスケットは付属しておりません。基本は再使用可能としていますが、劣化が激しい場合には車種専用の物をご購入の上、新品に交換して下さい。  
 ※ ボルト類の組み付け時には、緩み防止の為に“ネジロック剤”を塗布の上、締め付ける様にして下さい。  
 ※ キズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を貼って養生しておく事をお勧めします。

**1** 純正サイレンサーを取り外します。


車体左側(ドライブチェーン側)のサイレンサーボディ固定箇所(ダンパーゴムの間のツバ付きカラー)もあとで抜き取っておきます。



エキゾーストパイプとの接合部のバンドを緩め、ボルトを抜き取ります。



サイレンサー上部を固定しているボルトを抜き取り、サイレンサーボディを上下左右に小刻みに揺する様にしてエキゾーストパイプからゆっくりと取り外します。

**2** POWERBOX サイレンサー を組み込みます。


純正サイレンサー上部のステーを取り外し、POWERBOXサイレンサーに取り付けます。



ボルト / ナットは再使用して固定



この時点で本締めしておきます。(車体組み込み後に本締めしようとする、お手持ちの工具によっては工具が届かない場合があります。)



センタースタンド・ストッパーゴムを取り外し、POWERBOXサイレンサーに取り付けます。



サイレンサーのジョイントガスケットは純正サイレンサーから取り外して再使用します。固着して取れなかったり、著しく傷んでいる場合には専用の物を別途お買い求めの上交換して下さい。あらかじめグリスを薄く塗ってから差し込むと滑りが良くなり、ガスケットを傷めずに入れ易くなります。

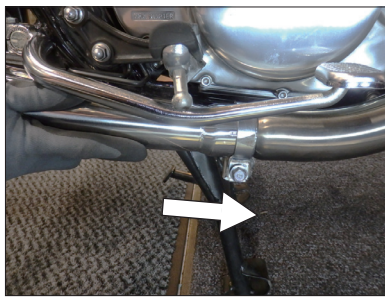


ジョイントガスケットは基本的に再使用しますが、固着して取れなかったり、著しく傷んでいる場合にはSR400専用サイズの物を別途ご購入の上新品に交換して下さい。

・サイレンサー・ジョイント・ガスケット  
 YAMAHA純正パーツ  
 品番:3GW-14714-00



エキゾーストパイプとの接合部のバンドとボルトは再使用します。かなり緩い状態で組み付けておきます。



POWERBOX サイレンサーをエキゾーストパイプにゆっくりと慎重に差し込んでいきます。あらかじめグリスを薄く塗っておくと滑りが良くなり、ガスケットを傷めずに入れやすくなります。



純正サイレンサー固定時と同様に内側にワッシャーを入れます。

アクスルナットで傷付けない様にウエスなどで養生します。

POWERBOX サイレンサー上部を仮止めします。純正サイレンサーに使用していたボルト、ワッシャーを再使用します。

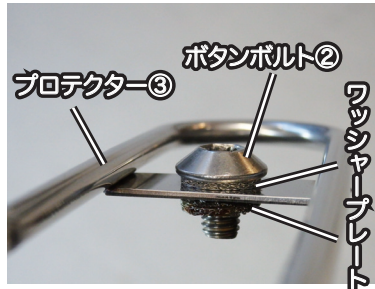
### 3 POWERBOXサイレンサーに付属のプロテクターを取り付けます。



ワッシャープレート



純正サイレンサーのプロテクターを固定している⊕スクルーの内側に使われているワッシャープレートを4枚再使用します。



純正のプロテクター固定時と同様に付属のプロテクターをワッシャープレートで挟んでPOWERBOXサイレンサーに固定します。



ヤケド防止の為にプロテクターの取り付けは必須です。必ず取り付け下さい。サイレンサーに内蔵している触媒装置は排気ガスと反応して非常に高温になります。走行直後マフラーが冷める前に触れる事のない様、取り扱いには十分ご注意下さい。特に小さいお子様が近付かない様ご注意下さい。

### 4 各部のクリアランス、取り付け状態を確認しながら仮止め状態の各部を本締めします。

センタースタンドがストッパーゴムに正常に当たるか、動作確認もしっかり行なって下さい。

### 5 マフラー全体をきれいに拭き上げます。

本締めに終えましたら、パイプに付着した汚れや油分をパーツクリーナー(脱脂剤)でしっかりと拭き取ります。汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますと後で落とすのが困難になりますのでご注意下さい。

### 6 エンジン始動後、排気漏れがなく、装着状態に問題の無い事が確認できましたら作業終了です。

- ※ マフラー装着完了後も取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
- ※ 装着直後はマフラー製造時に内部に残った油分が焼ける事により白煙や臭いが発生する場合がありますが、しばらく走行を繰り返していくうちに収まって行きます。
- ※ 製品の構造上、ご使用状況によってはアフターファイヤーが発生する場合がありますが、性能や耐久性に問題が生じるものではありません。
- ※ 製品によりましてはパイプやサイレンサーの一部に小さな穴を空けています。これは水抜き用に設けられた穴ですので特に問題はございません。
- ※ しばらくお使いいただく内にマフラー接合部から排気漏れや水滴がたれてくる事があります。この事は性能に大きな影響を及ぼす様な異常とはなりません、著しく排気漏れが発生している場合にはジョイントガスケットの交換や接合部に液体ガスケットを塗って組み直す事をおすすめします。
- ※ 【グラス・ウールは消耗品です!】マフラーの使用期間・使用状況によっては、音量が大きくなる事があります。使用距離: 10,000km毎を目安にサイレンサー内部消音材(=グラス・ウール)の交換をお勧め致します。(詳細は弊社までお問い合わせ下さい。)

上記の内容を良くご理解いただいた上でご使用下さい。